

# うしおの沢池

(うしおのさわいけ)



全景



## ため池の概要

### □ため池の所在地

島根県雲南市

### □ため池の特徴

うしおの沢池は宝暦13年(1763年)に築造された後、数回の増築や改修を経て、現在も50haの農地を潤す重要な水源となっています。

標高400m近い高原状の地形にあり、山間地の棚田では池の水を使って、食味の良い「棚田米」が生産され高い評価を受けています。

この地域は“神話のふるさと”とも呼ばれ、「簸の川大蛇退治」(ひのかわおろちたいじ)をはじめとする出雲神楽が盛んで、「海潮神代神楽」(うしおかみよかぐら)と称し、島根県無形文化財に指定されています。

池の底には断層があるといわれ、2箇所から自然湧水が湧き出ています。

また、天然湖のような雄姿をもって大景観をなしており、近くには棚田百選「山王寺の棚田」もあり、豊かな自然に溶け込んだ美しさは人々の心を和ませます。

一枚の田の面積が小さいものが多く、手間をかけながらも、先人が営々と守ってきた耕地を荒らさないよう、今日も労力が払われています。

## 関連情報